

12～2月の支出（図書、備品、慶弔、飲食除く）

147,578円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	19,875円
交通費(燃料代、高速代)	20,359円
通信費(携帯電話、折込、郵送)	107,344円
支出計 15/12/1～16/2/29	147,578円
寄付 Kさん	5,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
16/3/1

第157号
16100部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

突然、合併も視野に？

県西地域の中心市のあり方を南足柄市と協議？

突然の新聞報道に驚かれた方も多かったと思います。ここで、少し整理したいと思います。

■県西地域の中心市のあり方に関する南足柄市との協議について

小田原市と南足柄市は、安定的な行政サービス提供体制の構築と県西地域の広域連携体制の強化に向けて、2市間で県西地域の中心市のあり方に関する協議組織を設置することで合意した。

1 協議組織の設置方針

1) 設置目的

人口減少・少子高齢化が進む中であって、両市市民に対し安定的な行政サービスを継続的に提供可能な体制を構築するとともに、両市を中心市とした県西地域の広域連携体制の層の強化策として、両市の合併や新たな広域連携制度の活用等について、検討、協議を行う。

2) 組織名称

（仮称）県西地域の中心市のあり方に関する2市協議会

3) 設置期間

2016年10月から約1年間

2 協議の開始に向けた取組方針

1) 準備・推進体制の整備

①両市の市長及び担当職員による定期的な連絡会合の開催（2016年1月～）

②両市の担当職員による準備事務局の設置（2016年4月～）

2) 協議会の設置、運営方針の調整（2016年4月～）

①協議会委員の編成、例規の整備、運営経費の予算措置

②両市の重要政策、事業。計画、行政サービス内容及び財政状況の事前調査

3) 市民への情報提供（2016年4月～）

①各市の広報媒体等による取組の周知

②市民意識醸成に向けた両市共同のイベントの企画

4) 関係行政機関との連携（随時）

- ①神奈川県への情報提供と協力要請
- ②国に対する要望活動

3 合意に至った経緯

■2007～09年度

県西地域合併検討会（2市8町）

任意合併協議会の設置に至らず

※ 組織設置は2007年2月

■2013年度

「県西地域におけるこれからの基礎自治体のあり方に係る共同研究」を実施（2市8町）

2市と他町との間で今後の対応策の考え方に差異。

■2014年度

「県西地域における中心市のあり方研究」を実施（2市）

「2市が合併を選択し、スケールメリットを生かした行政サービスの提供を可能とする体制を備えた上で圏域内に新たな連携関係を構築することが望ましい」との結論を両市長に報告

■2015年度

小田原市の中核市移行や南足柄市の市長選挙を是年で両市の事務方が意見交換を継続。

県西地域の中心市のあり方に関する2市懇談会（2市）

- ・12月18日、中心市のあり方に関する協議を行うことで合意
- ・1月21日、協議組織の設置方針等について合意

議会には、2月2日の議員説明会まで2013、14の研究結果が報告されておらず、その際の資料請求により、後日入手したものです。

裏面に2市の合併でスケールメリットが生かせるのか検証します。

中心市のあり方研究から

■県西地域の課題

- ・人口減少、少子高齢化の影響で税収減、福祉の扶助費増で深刻な財政状況に陥る。
行政サービス水準低下と住民負担の増大

■財政指標で2市において差のあるもの(2013)

- ・将来負担比率

借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの。

小田原市 25.9

南足柄市 110.1

- ・財政調整基金残高(2007を100とした伸び率)

小田原市 147.0% (+22.1億円)

南足柄市 -48.1% (-6.0億円)

- ・扶助費(2007を100とした伸び率)

小田原市 51.9% (+53.8億円)

南足柄市 56.7% (+10.4億円)

- ・地方債残高(2007を100とした伸び率)

小田原市 -12.8% (-70.5億円)

南足柄市 +56.7% (+62.9億円)

小田原市の方が財政状況が改善しているように見えるが、ホール、斎場、ゴミ焼却炉等の建替えや改修を先延ばしにしてきたためであり、今後増大する。

■職員数等の状況

- ・現員数

小田原市 2176人(病院589人、消防365人)

南足柄市 314人(病院 0人、消防 0人)

- ・一般行政職平均年齢

小田原市 39.5歳

南足柄市 45.3歳

図1、図2に一般行政職における年代別職員数を示す。

- ・一般行政職における級別職員数

小田原市 2級から4級の一般職が60%

南足柄市 5級から7級(管理監督者)が64%

図1 小田原市年代別職員構成

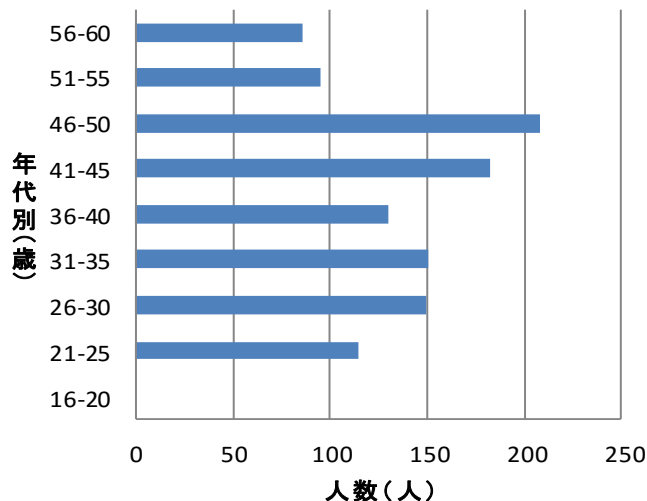
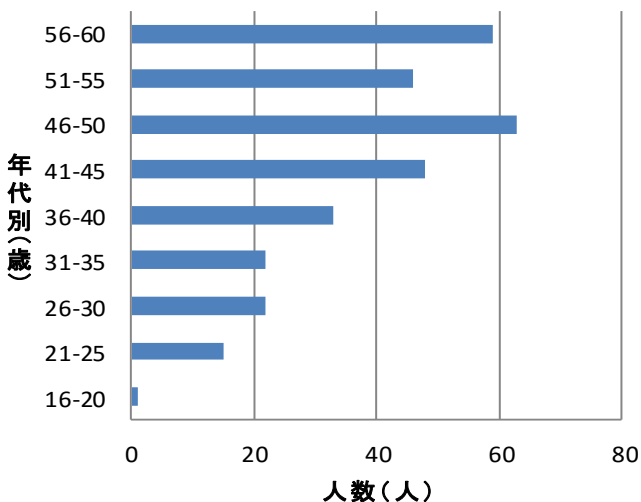


図2 南足柄市年代別職員構成



市職員の退職金は、民間企業のように積立てておらず、単年度で執行するため行政サービスの低下が避けられない。

■施設等

両市とも築30年以上の公共施設を多く所有

これらのデータから、なぜ合併が望ましいという結論を導き出したのか？

武松政策研究会からのお知らせ

3月の個人議会報告会は、都合により中止します。



HPは、「たけまつただし」で検索 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通 0051228 武松政策研究会 武松忠